

今、熊本かがやきの森支援学校では・・・(給食欠食日の対応について その3)

5月18日、22日、23日は給食欠食日でした。

この欠食日を利用して、本校の小学部・学部中学部・高等部ごとに1日ずつ、「学校に個人で備蓄している食料を実際に食べてみる日」と決めて取り組みました。もちろん職員も、自分で備蓄している食料を給食の代わりに食べることになっています。全体的に、カレーを備蓄している人が多いように感じましたが、この取り組みを通して、少々課題も感じました。それは、発災直後、授業中に帰宅できなくなった場合、個々に保管している備蓄食料を食べることになるのですが、その保管している備蓄食料が、電子レンジ調理が必要だったり、お湯が必要だったりするものが多かったということです。幸いにも、本校には自家発電機などが備わっていますが、全ての子どもに迅速に対応できるのかが少々疑問に感じました。

また、備蓄食料を食べない学部は弁当持参となりましたが、その弁当を見させてもらうと、子どもの大好きな食材が入っていたり、キャラクターに仕立ててあったりしていました。しかも、子どもの食べられる形態に整えてあり、作ってくださった保護者さんの愛情がひしひしと感じられる弁当ばかりでした。

保護者の皆様におかれましては、お弁当作りや備蓄食準備などに対応いただき、ありがとうございます。今後とも、ご協力の程よろしく申し上げます。

PS:今回は、素敵でおいしそうなお弁当が多かったので、写真の掲載を多くしたいと思います。

令和5年5月24日

熊本かがやきの森支援学校長

富永 佐世子



